

# MAXAM

## MAXimal Architectonic Matrix

### マクサムJ-700G高圧注入止水工法

コンクリート造のひび割れ、コールドジョイント、セパレーター跡、水平打ち継等からの漏水をマクサムJ-700Gを高圧注入し、止水する工法です。最大、毎分1tまでの漏水の止水が可能です。

【このような漏水でお困りではありませんか？】

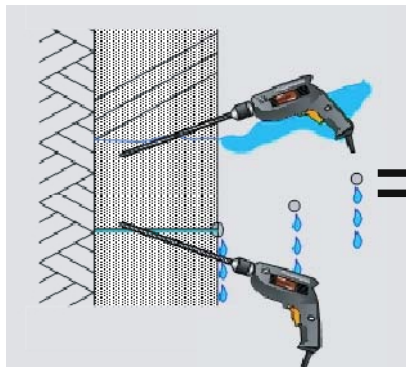


#### ●マクサムJ-700Gクラック注入工法

【マクサムJ-700G高圧注入止水工法の施工方法】

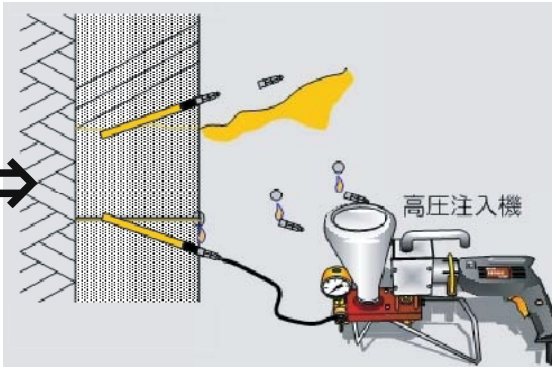


マクサムJ-700G荷姿  
(20kg/ペール缶入り)



#### 注入穴削孔

- ・水みちを横断する注入穴の削孔を行います。
- ・削孔角度は打継部に対して30度程度とし、削孔間隔は200mm~250mm程度とします。



#### マクサムJ-700G高圧注入

- ・高圧注入プラグを取り付けます。
- ・取り付けけた高圧注入プラグより、マクサムJ-700Gを注入します。

オフィスビル  
地階の漏水  
補修施工例



# 【マクサムJ-700G高圧注入止水工法応用編】

## ●マクサムJ-700G躯体貫通注入工法

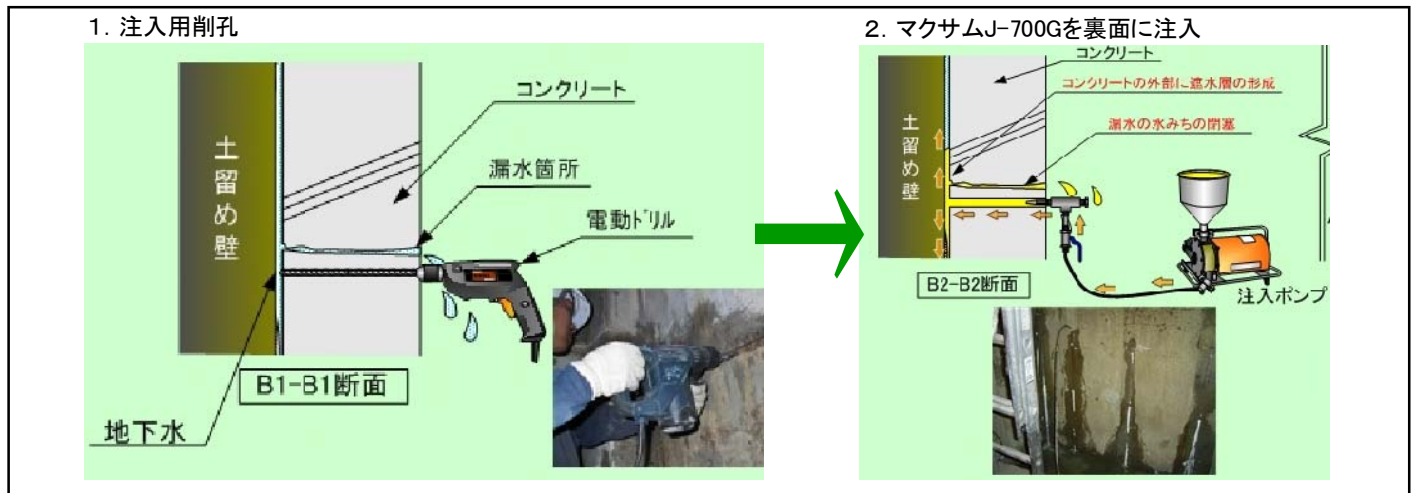
漏水の原因及び漏水経路が複雑な場合や、漏水の止水を行いたくても、漏水の発生箇所に設置物があり、直接補修が困難なときは、マクサムJ-700G躯体貫通工法で対処します。

- ①躯体コンクリートの外部側に、注入による遮水層(防水層)を形成し、侵入水をシャットアウト!!
- ②注入材が漏水経路となる水みち(ひびわれ・セパレータ跡・ジャンカ・コールドジョイント等)を閉鎖!!



このような漏水原因が複雑な状況の場合行います。

施工方法(イメージ図)



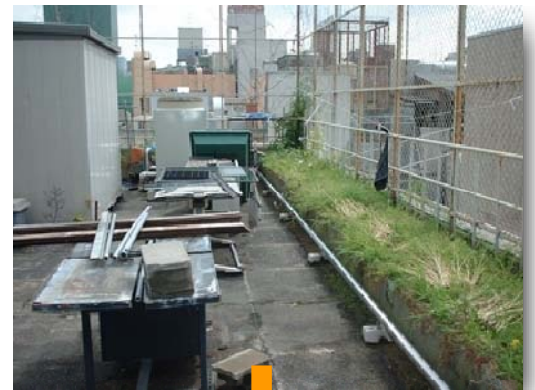
## ●マクサムJ-700G防水層再生注入工法

屋上からの雨漏りを等止水する場合、屋上には設備機器や配管などが設置されており、一般的な防水補修工法である、塗膜防水・シート防水が現実的には無理な状況です。その様なときはマクサムJ-700G防水層再生工法により、既存の屋上設備を移動することなく、止水工事が可能となります。

施工方法(イメージ図)



●屋上(キュービクル・室外機・植栽等が設置されている)



●最上階天井の漏水



お問い合わせは(株)アイレックスまで、お気軽にメール、電話、FAX等でお尋ね下さい。